

市教育委員会は、令和8年3月13日付けで
新たに市指定天然記念物1件を指定しました。

名称 おしきりしんしゅうしゅう か せきひょうほん 押切伸収集の化石標本 員数 214点



オシキリウスバホタルガの化石



押切伸収集の化石標本



郷土学習資料等展示施設
(ジオスタ☆ゆざわ)

押切伸氏は湯沢高等学校で教壇に立つ傍ら、高松地区にある三途川層を中心に、植物化石や昆虫化石を採取・研究し、発表されてきました。

平成24年6月に同氏から市教育委員会へ化石などが寄贈され、同年、郷土学習資料展示施設（ジオスタ☆ゆざわ）内に「三途川化石資料室」を開設、展示を開始しました。

三途川層産の化石群は600万年前から260万年前の東北地域の植生や地球環境、気候を研究することに欠かせない学術的に極めて貴重な標本です。その中、令和7年に慶応義塾大学などの研究チームにより、これまでヤガ科の仲間として保管してきた化石資料1点が、ウスバホタルガ属の新種であることが明らかになり、発見者の氏にちなんで「オシキリウスバホタルガ（*Agalope oshikirii*）」として記載されました。

この化石も郷土学習資料展示施設（ジオスタ☆ゆざわ）内に展示していますので、ぜひ足をお運びください。詳細は、市ホームページをご覧ください。

やくないばんがく 『役内番楽』

県指定無形民俗文化財に
指定されました。

鳥海山麓地域を中心に発展してきた、演目に獅子舞を取り入れ、かつ獅子頭そのものおよび獅子舞の演舞を神聖視する番楽が、他地域にどのように広まってきたのかを示す事例として重要であると認められました。

市ホームページでも動画を掲載していますので、ぜひご覧ください。

指定に関することは、県教育庁生涯学習課文化財保護室（☎018-860-5192）まで問い合わせください。

■指定日 令和8年3月31日

■指定・種別 県指定・無形民俗文化財

雄勝の山城を歩く(第2弾) 小野城

中世の山城である小野城（鎌倉～桃山時代）跡に登山し、防御施設などの見どころを解説者の案内で巡ります。

参加
無料

◇日時 5月30日(土)／午前8時45分～午後1時
(雨天中止)

◇集合場所 市役所本庁舎1階市民ロビー

◇移動手段 市バス

◇見学場所 市指定史跡「小野城址」（雄勝地域泉沢地区）

◇解説者 さいとう ふうみ 齋藤 文夫 氏（『秋田県の中世城館を探索中』著者）

◇定員 20人（先着順）

◇申込み 5月22日(金)まで、下記に電話またはメールで「氏名」「住所」「連絡先」をお知らせください。

◇注意事項 熊対策として、熊よけサイレン・爆竹・熊鈴を使用し、事務局側で熊撃退スプレーを携行しますが、参加者各自でも対策してください。

☎ 生涯学習課文化財保護室（☎55-8193 ☒k-bunkazai@city.yuzawa.lg.jp）